豊かな「食」で勝負

Show-1グランプリで２連覇を達成

船人めしがもたらした勢い

「食材豊かな枕崎が本気になれば勝てるはず。これをまちの通りの元気の起爆剤にしたいというのがＳｈｏｗ-１グランプリに参戦するきっかけでした」

枕崎市通り会連合会会長の加藤隆一さんは当時を振り返ります。

メニューの開発は食のプロである料飲業組合に依頼。みんなで集まり何度も作戦会議を行い、試行錯誤を繰り返しながら５カ月ほどかけて出来上がったのが「枕崎鰹船人めし」でした。

ずばりテーマは「カツオづくし」。枕崎鰹節の本枯れ節の風味とカツオの旨みを堪能できる一品となりました。

いざ臨んだＳｈｏｗ-１グランプリ。県内各地で行われた地方大会と本大会のいずれも最高得票率を獲得し、見事グランプリに輝きました。

「グランプリを獲得してからのマスコミの反応は凄いものでした。新聞やテレビ番組で大きく取り上げられ、一気に知名度が上がりました」と話す加藤さん。そして、２連覇を目指して改良したスペシャル版。テーマは「ふれずに進化」。

かつお出汁（だし）には本枯れ節に荒節をブレンドすることでコクを出し、枕崎茶を使った茶めし、さらにトッピングにかつおせんべいをプラスすることで見た目も食感のバリエーションも豊かになりました。２月に行われた本大会では延べ２００人を超えるスタッフで大会に臨み、見事２連覇を達成することができました。

加藤さんは「船人めしを盛り上げようと市民が一致団結してつかんだグランプリでした。たくさんのメンバーが集まって、それぞれが知恵を出してくれて、それがいい方向へ進んで行ったと思います」と話します。

枕崎市通り会連合会会長
加藤隆一さん

「枕崎鰹船人めし」はＳｈｏｗ-１グランプリで２連覇を達成したことで、殿堂入りを果たしました。

また、今年の７月に商標登録を取得しました。登録の手続きに携わった枕崎水産加工業協同組合庶務課長の中釜章智さんは、本紙９月号でのインタビューで「今、第一歩を踏み出したところなんですよ、枕崎グルメの道を。これからなんです二歩目、三歩目が。現状に満足するのではなく、改良や工夫を重ねていかなければ２年で飽きられますね」と話しています。

その想いは枕崎鰹船人めしメンバーも同じで、また新たな取り組みが始まりました。

新たな名物料理のキーワードは「コンカツ」

枕崎市は北海道稚内市と友好都市締結をしています。それぞれの特産品「コンブ」と「カツオ」を使った「コンカツ（婚活）料理」を名物料理にしようと計画が始動しました。

９月２日に市水産センターで行われた第１回目の会議には「枕崎鰹船人めし」の開発に携わったメンバーや市内料飲店関係者などが顔をそろえ、様々な意見が出されました。出汁（だし）にこだわった料理、素材を生かした料理、特産品を使った料理と、いろんなパターンが出されました。

そして10月２日に行われた第２回目の会議では各店舗が作った試作品が持ち寄られ、試食会が行われました。実際に食べてみた感想や使っている食材などの意見交換がなされ、それぞれのアイディアを参考に、さらに改良された料理が11月24日のイベントで披露されることになっています。

将来的には、幸せにあやかれるような縁起のいい料理「コンカツ（婚活）御前」を作ろうとの声も上がっています。

▲10月２日、コンカツ料理試食会の様子

がんばる商店街

商店街は人と人とのつながり

鹿児島県商店街振興組合連合会理事長
宇宿商店街振興組合理事長
河井達志さん

鹿児島市の宇宿商店街振興組合理事長でＳｈｏｗ-１グランプリの発起人でもある河井達志さんにお話を伺いました。

「これからの商店街は地域密着から生活密着にならなければいけないと思います。いつもお店に来るおばあちゃんが昨日は来なかったけど今日は元気に買い物をしていった。ただそれだけで安否確認ができますよね。大きなお店ではなかなか気付けないことです。大型店舗にはできないことを身に付けなければいけない。売る側も商品についてもっと勉強して、それをお客さんに詳細に説明することでそのお客さんはひとつ生活の知恵がつき、つながりも出てきますよね」

商店街の役割

つながりという観点から始められたのが、地域ネットワークの構築を目的としたＳｈｏｗ-１グランプリでした。

「それぞれの商店街が競争をしながらですけど互いに情報交換をしあい、交流ができ、また新たな何かを作り出す知恵が出てくる。また、つながりがあるっていうことは、いざという時に助け合うこともできるわけです」と話す河井さん。

県内各市町村でも枕崎市通り会連合会のような商店街の集まりは増えつつあり、そのリーダーたちが集まり情報交換をする「リーダーネットワーク会議」も数年前から開催されているそうです。

「商店街のもう一つの役割として言えるのが、まちの安全安心を守るということではないでしょうか。街路灯の管理もそうですし、今後は防犯カメラの設置を予定しています。まちの活力を支え、さらには安全を守る役割を商店街は担っています」と河井さんは話します。

平成23年度から実施しているアートストリート整備事業により、通りに芸術作品が設置されるなど変化しつつある商店街。まちをゆっくり歩いてみて、私たちの身近にある商店街の新たな魅力を見つけてみませんか。

市が実施する事業

空き地・空き店舗を利用した新規出店に
◎枕崎市商店街空き地空き店舗対策事業

商店街団体や新規出店者が商店街の空き地・空き店舗を賃借して新規出店する場合などに、賃借料及び改装費の一部を補助します。

■対象事業
- 空き店舗を活用し新たに出店する店舗等に係る賃借料
- 空き店舗の改修及び改装
- 老朽空き店舗解体及び撤去
- 新店舗及び駐車場に利用するための空き地の整備など

お魚センターに出店しませんか
◎枕崎市チャレンジショップ促進支援事業

お魚センター内の空き店舗を利用して行います。

■補助内容　家賃補助（月額　家賃全額　最大24か月）

■補助対象者　市内の商店街またはお魚センターに出店計画を持っている小売業、サービス業、飲食業等の出店希望者で、お魚センター内の空きテナントを活用する法人または個人

新商品開発やイベント、施設整備に
◎枕崎市がんばる商店街支援事業

新商品開発やイベントなどのソフト事業や街路施設整備などのハード事業を行う商店街団体等に補助します。

■対象事業
- ソフト事業＝事業費30万円以上で新商品開発、IT・情報化推進、共通商品券等発行、イベントなどの事業
- ハード事業＝事業費300万円以上で街路施設整備事業、イベント広場等整備などの事業

設備投資等の資金に
◎枕崎市中小企業振興資金融資制度

■対象　市内に住所を有し、原則として同一業種の事業を引き続き６月以上経営している中小企業者

■融資額　１企業あたり600万円以内

■融資期間　５年以内

※融資利率等については、お問い合わせください。

問合せ　水産商工課商工振興係　TEL72-1111（内線 421）